

桃陵中だよい

京都市立桃陵中学校 校長 浅井 晃
令和3年8月31日 9月号

学校教育目標

『自ら学ぶ 豊かな心をもつ
社会に貢献する 生徒を育む』

生徒会サミット

8月25日(水)、「京都市こども未来会議(中学生生徒会サミット)」がZOOM開催されました。伏見支部の代表として本校の生徒会本部が参加し、「開会宣言」をしました。はっきりした口調で立派に役割を果たすことができました。続いて京都市教育長 稲田新吾氏から「あいさつ」があり、スタートしました。

テーマは「Team Kyoto プロジェクト’21～誰もが通いたくなる学校～」として、グループに分かれて活発に議論しました。話し合った内容をメッセージとして、これから京都市のすべての中学校生徒会へ「発信」されます。みなさん期待してください。



消防分団シャッターアート 完成セレモニー

8月3日(火)、南浜消防分団の器具庫詰所において、「シャッターアート」の完成セレモニーが開催されました。3年前に南浜消防分団から、桃陵中学生のみなさんで倉庫シャッターに絵をかいて欲しい、とのお願いがあり、美術部が引き受けこととなりました。この取り組みを引き継ぎ、コロナ禍の中、ようやく完成しました。「シャッターアート(たて230cm×よこ180cm)」2面は、デザインは左右セットで、左側は火のイメージを表すワシ・ライオン・チーターで、右側は水のイメージを表す象と消防団員が描かれワンシーンとなっています。

南浜消防分団の器具庫詰所は南奉行町で、学校からまっすぐに北に約400mのところにあります。ぜひ一度見てください。KBS京都・J:COMで放送され、8月15日の「京都新聞」にも記事が掲載されました。

保護者の方へ ~ヤングケアラー実態調査~

8月27日(金)に、京都市教育委員会からの配布プリント『「中高生の生活実態に関するアンケート(ヤングケアラー実態調査)」ご協力のお願い』を配布しました。昨年より全国的に調査が実施されています。今回、京都市立の中学校・高等学校の全校生徒を対象にして実施することとなりました。無記名のため個人が特定されることはありません。また、答えにくい質問には回答しなくてもかまわないことになっています。

“ヤングケアラー”とは、一般に「本来、大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども」とされています。(厚生労働省HPより)

※裏面には「9月行事予定」を掲載しています。